

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 事業名 | 新規狩猟者確保事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 飯伊連合猟友会 |
| 事業区分 | (6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 2,239,170 円 |

事業内容

①H30.11.10 飯田国際射撃場において新規狩猟者確保講座を実施。

飯伊連合猟友会の内部組織で若手会員有志者の「南信州 hunter's」による同世代や今まで興味があつたが始められるか悩んでいた人、また特に女性でも狩猟、射撃が可能というところをPRするための内容。

- ・中川村で狩猟、ジビエ、射撃と幅広く活躍している女性猟師の講演。
 - ・一般者は普段見ることができないクレー射撃見学。
 - ・猟師(猟銃所持者)に必要な猟犬とのふれあい。
 - ・猟師が鹿を捕獲した後、どのように解体、食しているかの体験(レストラン等で提供しているおしゃれな食べ方ではなく、猟師飯とはを説明、試食)。
 - ・猟銃を所持するにはまだ躊躇してしまうが、比較的簡単に始められるわな免許を取得する人が最近が多いため、効率的に捕獲する設置方法を説明、希望者には体験してもらった。
 - ・募集は各新聞、フリーペーパー、SNS等を利用した。
- ②今後多くの女性に活躍してもらうため、女性トイレ設置。
・今ある既存のトイレに増設。横1.8m、縦1.5m、高さ2.5m。

事業効果

- ①普段、射撃や狩猟、ジビエに興味を持っているが、実際どう始めたら良いかわからず悩んでいた人たちが初心者対象の講座参加で一歩踏み出せる状態になった。
- ②狩猟や射撃は男性がするものと思われがちだが、講座に女性参加者が多かったことで、受け入れ側が女性に配慮した環境(女性専用トイレ等)を整備すればもっと猟友会への参加を呼び掛けることが可能であることがわかった。
- ③一般者対象の講座を開催したことで世間に対して猟友会の活動を知ってもらえた。

今後の取り組み

- ①引き続き、新規狩猟者確保講座を年一回開催する。
- ②狩猟免許取得後、射撃については南信州hunter's内に公安委員指定の射撃指導員が、わな仕掛け方や解体等も南信州 hunter'sで新規のフォローをしていく。
- ③射撃場は射撃はもちろんのこと狩猟関係の講座、講習会を開催するのにも打って付けの場所であるため、女性専用トイレを設置したことで、性別問わず幅広く呼びかけをしたい。
- ④ただ会員数を増やすことだけを目的とせず、射撃や狩猟は危険が付き物ということを、特に女性に対しては指導を徹底したい。



【新規狩猟者確保講座わな設置体験】

【目標・ねらい】

- ①狩猟免許取得、特に減少傾向の猟銃所持の猟友会員増加をねらう。
- ②女子トイレ設置で女性も安心して足を運べることで講座に参加しやすくなり、また男女問わず若者が狩猟免許取得、そして猟友会員になり、将来の有害鳥獣捕獲担い手と育成する。

※自己評価【A】

【理由】

若者や特に女性参加を狙ったものだったが、予想を上回る参加者数で、実際興味を持っている人たちが多数いることを実感。狩猟免許を取得したいというところまで持って行けた。